

「地域の子どもの居場所」を増やすための支援活動の推進に関する請願

1 趣 旨

心や環境面に深刻な問題を抱えている子どもたちの中には、周囲の大人に相談できず、孤立感を強めている子が少なくない。子どもたちの状況を理解し、温かく寄り添う大人の存在は、学校や家庭だけでなく地域にも求められている。

現在、子どもたちが抱える問題を早期発見できる場として「地域の子どもの居場所」が注目されている。福井県内で運営されている「居場所」には、主に「学習支援の場」と「子ども食堂」があるが、2018年度は70箇所、2019年度は88箇所、2020年度は101箇所、その数は年々増え続けている。

先日訪問した越前市の子ども食堂では、学習支援も行っており、地域のボランティアの支援のもと、どの子どものびのびと楽しそうに過ごしていた。ここでは、活動中の子どもたちの様子をさりげなく見守り、相談にのったり、必要があれば様々な機関等につなげたりしているそうである。

「見守り」や「気づき」を目的とした地域の居場所が増えることで、より多くの悩みを抱えた子どもたちの存在に気づき、手を差し伸べることができる。そのような「地域の子どもの居場所」を増やすためには、居場所の立ち上げや運営に係わる助成制度・研修の充実、ボランティアを増やすための普及活動等の支援活動を進める必要がある。

そこで、下記のとおりで請願する。

記

子どもたちを見守り、必要な支援へつなげることができる「地域の子どもの居場所」を増やすための支援活動を推進すること。

2 提 出 者

福井の教育をよくするための県民連合 会長 勝見義治

3 紹 介 議 員

西畑知佐代、佐藤正雄、細川かをり

4 受 理 年 月 日

令和3年11月11日